

多様性の受容から尊重へ

- 大学とLGBTsを考える -

日時

平成 31 年

2月9日(土) 13:15 ~ 16:30

対象

一般市民、大学関係者、
佐賀大学学生・教職員 など

会場

佐賀市保健福祉会館

ほほえみ館4階 視聴覚室

(佐賀市兵庫北 3-8-36 TEL 0952-30-0100)

参加無料 / 申込不要

社会や教育の現場において「多様性」がうたわれるようになってからかなりの時間が経ちます。しかしながら、大学においては多様な学生や教職員を受け入れる態勢はまだ十分ではなく、「多様性」に対する学生や教職員の意識が成熟しているとも言い難いのが現状です。

そのような中、お茶の水女子大学の

トランスジェンダー学生受入れの決断(2018年7月)は画期的な出来事でした。そこでこのシンポジウムの第一部では、お茶の水女子大学の関係者から、大学がそのような合意形成に至った経緯や今後の課題などについてお話を伺い、第二部では、それをもとに学生の性自認に基づく通称使用をいち早く認めた北九州市立大学の関係者、大学の

セクシャルマイノリティーサークルの代表者、そして大学で「多様性」について研究している学生、ジェンダー・イクオリティ研究所のメンバーを交えて活発な議論を行います。そして、「多様性」を単に受け入れるだけでなく、より積極的に尊重する大学へと発展するための道筋を参加者全員で考えたいと思います。

プログラム

◆開会挨拶

上野 景三 (佐賀大学教職大学院教授・
佐賀大学ジェンダー・イクオリティ研究所所長)

第一部 基調講演

お茶の水女子大学理事・副学長

三浦 徹 氏

「女子大学における
トランスジェンダー学生の受入れ」

第二部 シンポジウム

「多様性の受容から尊重へ
：大学とLGBTsを考える」

<シンポジスト>

三浦 徹 氏 (お茶の水女子大学理事・副学長)

河嶋 静代 氏 (北九州市立大学名誉教授)

健崎 まひろ 氏 (佐賀大学 CARASS 代表)

福山 沙希 氏 (佐賀大学文化教育学部学生)

シンポジウムについてのお問合せ先

〒840-8502 佐賀市本庄町1

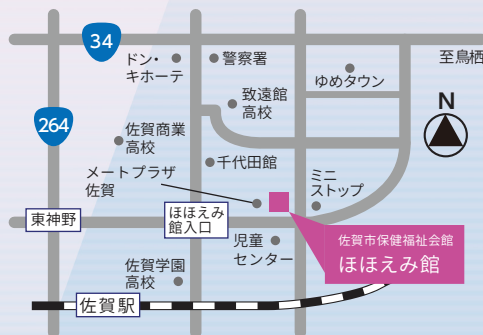
佐賀大学芸術地域デザイン学部 / 吉住 磨子

TEL 0952-28-8344

yoshizum@cc.saga-u.ac.jp

主催：佐賀大学ジェンダー・イクオリティ研究所

共催：アバンセ (佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター)



駐車場あり
バス：佐賀市営バス ゆめタウン線「ほほえみ館前」徒歩1分
徒歩：JR佐賀駅から15分

佐賀大学
ジェンダー・イクオリティ研究所

Saga University Project Laboratory for Gender Equality

佐賀大学プロジェクト研究所 (SUPLA) として、ジェンダー・イクオリティ研究所が2016年に発足。分野の異なる6名のメンバーから成り、大学内外のジェンダー平等について研究・啓発活動を盛んに行っている。

http://www.saga-u.ac.jp/kokusai/project_shakaibunka5.html

